



令和4年度

# 笑顔美味しくみんなの食堂

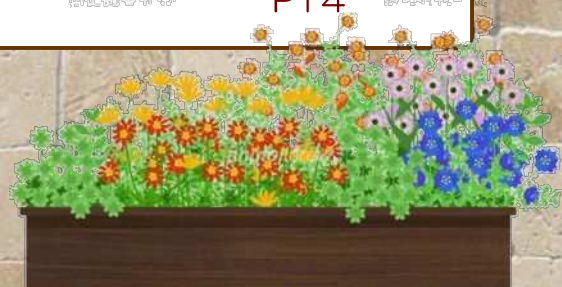


白山市社会福祉協議会



## 目次

ごあいさつ	P1
こども食堂ネットワーク事業 (白山市福祉健康まつり)	P2
こども食堂アンケート報告	P4
市内こども食堂の取り組み	P6～P11
・らんらん食堂・新森	
・はくさんうぐいす食堂	
・ばあちゃん食堂とふれ愛サロン	
・いしかわスマイルカフェ	
・絵日記こども食堂みやぼ町店	
・介護予防サロン福蝶とキッズカフェ	
・行善寺やぶそば	
・ふくちゃん青春食堂	
・いのくち子ども食堂	
こども食堂ネットワーク支援研修会	P11
こどもの居場所づくり	P12
～笑顔咲くみんなの食堂～	
こども食堂を応援！	P14



## ごあいさつ

各団体の皆様には、日頃より、地域において、こども食堂の運営等にご尽力をいただいておりますこと、また、長引くコロナ禍により運営が難しい状況の中、それぞれが感染防止対策を徹底したうえで開催されておいでますことに対し、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、こども食堂は、子どもやその親、地域の人たちが、世代に関係なく一緒に美味しいごはんを食べられ、地域の中の安心できる居場所として、また、地域のつながりが強まっていく大切な居場所として考えております。

今年度は、この事業をさらに推進するため、地域をはじめ、地区・校区などで自主的に活動できる団体として、新たに2つの団体(グループ)に参加していただくこととなりました。白山市では、この事業が、地域住民の交流拠点となるよう継続的に支援し、市内で益々この活動の輪が広がりますよう努めてまいりたいと思います。

各団体の皆様には、今後とも、この食堂事業を通じて、世代に関係なく事業の趣旨に賛同いただき、交流や情報交換、親睦を図られますことにより、さらに、互いに声を掛け合えるような「絆」を築いていただきますとともに、一人でも多くの子どもたちや地域の人たちが笑顔になるよう期待しております。

結びに、より多くの皆様にこども食堂事業を身近に感じていただき、「食」を通じて安心して過ごせる居場所づくりが益々広がりますよう切に願いあいさつとさせていただきます。

白山市健康福祉部こども子育て課  
課長 酒井 誠 一



# 白山市福祉健康まつり 松任総合運動公園



市内で子ども食堂を運営する7団体が一つとなり、3年ぶりに開催された「白山市福祉健康まつり」の会場で、「笑顔咲く みんなの食堂」を開店しました。



当日は、子ども食堂に関するアンケートの回答にご協力いただきました。  
(アンケート結果は、次頁に掲載)



## あたたかい焼き芋をみなさんに！

子どもだけでなく、会場に訪れた方を対象に、秋の味覚「焼き芋」を無料でお渡ししました。用意した400本の焼き芋は、すぐに終了し大好評でした。あたたかい焼き芋を受け取る子どもや保護者、おじいちゃん、おばあちゃんから笑顔があふれていました。



「ばあちゃん食堂」の皆さんが、後日、湊町でも開催され500本の焼き芋を地域の方に振舞われました。福祉健康まつりの会場に足を運ばなかった方々への心配りを感じます。



子ども食堂応援隊の皆さんも  
お手伝い！



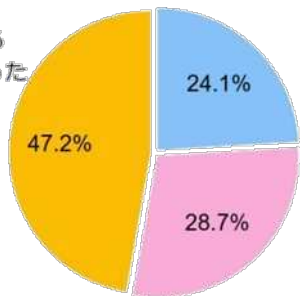


福祉健康まつりの会場でアンケートにご回答いただきました。

### こどもへのアンケート

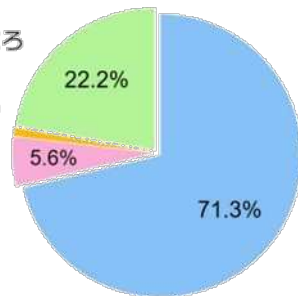
「白山市のこども食堂を知っていますか？」

- 行ったことがある
- 知っているが行ったことがない
- 知らない



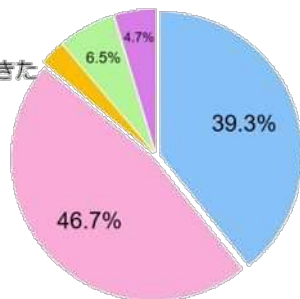
「こども食堂はどんな所だと思いますか？」

- 食事をするところ
- 遊ぶところ
- 勉強するところ
- わからない



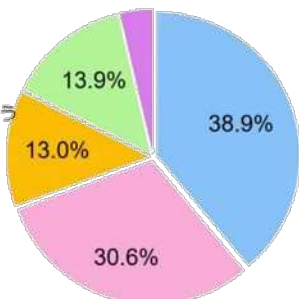
「こども食堂に行きたいと思いますか？」

- 行きたい
- 近くにあれば行きたい
- 行きたくない
- 行きづらい
- 無回答



「こども食堂でしてほしいことは何ですか？」

- ご飯を食べる
- 友達と遊ぶ
- 勉強を教えてもらう
- クッキング
- その他

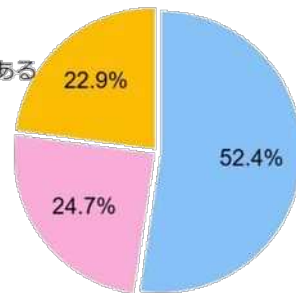


### 大人へのアンケート



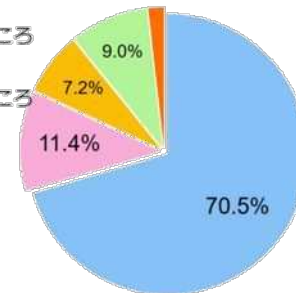
「白山市のこども食堂を知っていますか？」

- 知っている
- 聞いたことはある
- 知らない



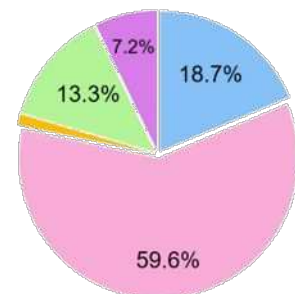
「こども食堂はどんな所だと思いますか？」

- 食事をするところ
- 遊ぶところ
- 勉強をするところ
- わからない
- その他



「こども食堂を利用したいと思いますか？」

- 行きたい
- 近くにあれば行きたい
- 行きたくない
- 行きづらい
- その他



「こども食堂に求めることは何ですか？」

- 食事の提供
- 食材の提供
- 子どもの遊び場
- 学習支援
- 地域の交流
- 相談
- その他



半数近くの子どもが、「白山市のこども食堂を知らない」と回答しました。現在9か所の食堂が運営されていますが、近くに食堂が開催されていないと知る機会がないのかもしれません。今後、子どもが一人でも出かけられる身近な地域での食堂が増えれば「近くにあれば行きたい」と答えた子どもの思いにも応えられるのではないかと思います。また、少数ですが、「行きづらい」と回答した子どもがいることも見過ごしてはいけません。そして、食堂で「友達と遊ぶ」ことも望んでいます。食事の提供だけでなく、遊びや体験など、友達や地域の人と関わりながら楽しめる時間を大切に、これからも、誰でも気軽に立ち寄れる居場所づくりに取り組んでいきたいと思っています。

子どもと同様に「こども食堂に行きたい」「近くにあれば行きたい」と回答された方が多くおいでました。そして、「地域の交流」も食堂に望んでいることがわかりました。長引くコロナ禍で、地域の行事が縮小され交流の機会が減ってしまった現在、子どもの安心できる居場所づくりとして開催する「こども食堂」が、地域の交流拠点となり「みんなの食堂」として求められているのかもしれません。



その他、「もっと回数を増やしてほしい」「たくさんの場所できたら良い」「地域の交流の場として発展したら良い」「楽しいひとときをありがとう」などの意見をいただきました。アンケートの結果やご意見を今後にかかしていきたいと思っています。アンケートにご協力いただきありがとうございました。

## らんらん食堂・新森 (新森島台町集会場)

白山市森島町い 102-2  
連絡先 谷内 悦子  
電話 090-2830-2339

### 蔵山地区社会福祉協議会が運営を支える地域食堂！

令和4年7月にオープンしました！

コロナがなかなか収まらないので、お弁当を持ち帰ることにしています。調理をして下さるのは、毎週開いている「新森クラブ」という体操教室に参加している、おばちゃん達を中心です。

子ども達の笑顔が一番ですが、ほっとするお母さん、長年の経験が生かされるというおばちゃん達の三者が喜ぶ場になっていることが、とっても嬉しいです。



初めての食堂！  
50食のお弁当はすごいな～



代替えの  
笹寿司



夏休み、春休みの期間だけの開催ですが、子どもも高齢者も一緒に食事をして楽しく過ごせる日が早く来ることを願っています。



子どもだけでなくお年寄りも  
集う場に！

## はくさんうぐいす食堂 (松任青少年宿泊研修センター)

白山市村井町 1239  
連絡先 特定非営利活動法人  
ワーカーズコープ (村上)  
電話 080-3080-0340



ご予約  
ボランティアのお申し込み



公式LINE

特定非営利活動法人ワーカーズコープは白山市松任青少年宿泊研修センターの指定管理者です。出資、労働、意見反映の私たちの働き方が、2022年10月1日に労働者協同組合法として、施工されました。

持続可能な地域づくりを目的とした弊法人は2023年4月1日より、労働者協同組合ワーカーズコープセンター事業団として、スタートします。「はくさんうぐいす食堂」も含めて、地域を元気にする活動を皆さんと一緒に！！

2022年の活動は、毎月1回のこども食堂開催です。宿泊施設という強みを活かし、お持ち帰りのお弁当だけではなく、食堂で会食を行う事も可能となっております。また、使わなくなったおもちゃを欲しい方へお譲りするおもちゃの交換会『かえっこバザール』を同時開催し、リユースの取り組みも行っております。

更に2023年1月には「宿泊こども食堂」を開催しました。近年問題となっている“体験格差”を解消する為の取り組みの一環で、学校ではなかなか学べない家庭の医学や保険についての講演会や金大の大学生サークルさんと環境問題を楽しみながら学びました。オリジナルバックの制作や夕食・朝食では、参加者が一体となって楽しんでいました。

ひとり親支援も行っておりますが、どなた様も楽しめる『はくさん うぐいす食堂』を目指しています！



## ばあちゃん食堂とふれ愛サロン (湊町ふれあいセンター)

白山市湊町 4-10  
連絡先 中村 喜美子  
電話 076-278-4847

ばあちゃん食堂は6年前、ふれ愛サロンは16年前に設立。三世代が共に支えあう町づくりを目指しています。開催日には、2本の旗が子供や高齢者を迎えています。コロナ禍は、ばあちゃん食堂は配布を中心に行い、ふれ愛サロンは年10回開催。合同で3回会食し交流を深めました。



## 絵日記こども食堂みやぼ町店 (白山市立宮保公民館)

白山市宮保町 1138-1  
連絡先 西 哲朗  
電話 090-7080-2977

こども達に、お料理と工作体験など色々な催しを無償で提供しています。長引くコロナ禍で少なくなった“美味しさ”“楽しさ”“感動”“笑顔”の体験を創ることを目的としています。春には、自己紹介のこども名刺を作り、夏には夏祭り、秋にはハロウィンメイク、冬には、クリスマスツリー工作など、毎回大切な仲間達に協力してもらいながら季節に応じた催しを開催しています。2022年9月より、町内の方々の理解から宮保公民館で開催させていただいています。地域の方々、ご寄付いただいた方々には、本当に感謝しております。2023年からは、こども達の楽しい思い出作りはもちろん、子育てされている親御さん方、そしてそれを見守る地域の皆様の少しでもお役にたてるような内容の食堂を開催できるように、さらに努力します。



## いしかわスマイルカフェ (西南部児童センター)

白山市源兵島町 289-5  
連絡先 加藤 千恵  
電話 090-6165-4146



『子ども達にはおなかいっぱい食べてほしい・お父さんお母さんには少しでもラクになってほしい・おじいちゃんおばあちゃんにはずっと元気でいてほしい』子どもだけの参加はもちろんの事、親子での参加や町のおじいちゃんおばあちゃん達も来てくれています。地元コミュニティクラブや青年団と連携しながら地域が元気になる活動をしていきます。

## 介護予防サロン福蝶と キッズカフェ

白山市福留町南 1-177  
連絡先 五郎川 外美江  
電話 076-277-2823

世代交流のふれ合いの居場所（介護予防サロン福蝶）は、多世代でいろいろな立場の人とふれ合うことで、自然に自分の能力や魅力に気づいたりその力を活かせる場となっています。そして、他の場所であっても活躍できることを見いだしています。





## 行善寺やぶそば (佛子園)

白山市北安田町 548-2  
連絡先 社会福祉法人佛子園 やぶそば  
電話 076-276-0653 (中島)

毎週月曜日から金曜日、16時～18時小学生以下でご来店の方、子どもだけで、食事をされる場合、やぶそばの食事が全てのメニュー半額(ドリンクは除く)になります。

昨年には、トンギスカン丼 400食の無料配布の企画を致しました。現在もいろんなイベントを企画中です。例えば併設のトレーニングジムで汗を流してから子ども食堂でお腹いっぱい食べる。沿道の紫陽花を植えてから手作りカレーをみんなで食べる。職場体験等子ども達が楽しめる色々なイベントを企画していきます。



## いのくち子ども食堂 (井口町公民館)

白山市井口町南 156-1  
連絡先 北村 美江  
電話 076-272-2201

高齢者ふれあいサロンと合同で一緒に調理して会食しながら自己紹介やふれあいゲーム等を通じて顔見知りになり、町内で見かけたら声を掛け合う関係づくりを目指してきました。

しかし、コロナ禍に入り合同の会食は出来なくなりましたが、今年度1回目は食べ物と身体の勉強をしてからサンドイッチを子ども達で手作りして、手品を皆で楽しみました。2回目は、餃子の王将さんの支援弁当を頂きましたので、フルーツヨーグルトの材料を配り自宅で作って食べてもらいました。

今後子ども達ができるべく手作り出来て、楽しめるようにしていきたいです。



食べることは  
大事なこと



自分で作ってみよう



## ふくちゃん青春食堂 (福祉ふれあいセンター)

白山市倉光八丁目 16番地 1  
連絡先 白山市社会福祉協議会  
電話 076-276-3151

センターの階段を駆け上がって来る足音がし、「こんにちわー」と、元気に部屋に入って来ると、早速、宿題をしたり好きな遊びを楽しんだりして食事までの時間を自由に過ごしています。月一回の開催ですが、紙芝居の会や海外の食文化を知る会、コカリナ演奏会など、多くのボランティアさんに支えていただくことで、子ども達がいろいろな人や文化、食にふれることができました。コロナの感染状況により、食事は、お弁当の持ち帰りという月もありましたが、みんなで食べられる時は、最高に楽しい食事時間になりました。「お腹一杯になった」「また来るね」と思ってもらえる居場所づくりをこれからも考えていきたいと思ひます。



## こども食堂ネットワーク支援研修会・連絡会

市内のこども食堂関係者が集い、運営や活動に関する研修会を行ったり、各食堂の情報交換をしたりしています。



こども食堂の現状について  
情報交換



安心できる  
こども食堂であるため  
に栄養士による「食品  
衛生の基本」について  
の研修会



小西麻美 栄養士

福祉健康まつりに  
向けて、より美味しく、  
より多くの方に渡せる  
焼き方をみんなで  
試作...



新たな情報や運営のヒント  
を得ることができます。  
各食堂いろいろな取り組み  
をしています。共通するこ  
とは、子どもへの温かい思ひ  
です!



こどもの  
居場所づくり

# 笑顔咲く 「みんなの食堂」



こどもの居場所づくり事業は、子どもを地域で見守る拠点とする食堂であり、食を通じて子ども達が地域の高齢者も含む幅広い世代とつながり、交流をするとともに、地域の中の安心できる居場所づくりを目的としています。



「みんなの食堂」の  
ロゴマークができました!

白山市立わかみや児童センターの東川 愛 児童厚生員が、ロゴマークをデザインしてくださいました。白山市の子ども達が、食を通して笑顔一杯に大きく成長することを児童センターから応援してくれています。

## 「みんなの食堂」を始めてみませんか?

白山市健康福祉部こども子育て課

白山市では、市内の子どもを中心に保護者や地域の高齢者などが一緒にごはんを食べられて、楽しい時間を過ごせる地域の中の安心できるこどもの居場所づくりを目的として、無料又は低料金による食事の提供を行う「みんなの食堂」を実施する運営団体を応援します!

### ★市の支援について

運営上必要なもの	支援の内容
1 資金	運営費の一部を補助します。 ※補助金の概要と手続きの方法は、市のホームページをご覧ください。
2 場所	公共施設を会場とする場合、利用時の減免申請を市が行い、会場使用料がかからないようにします。
3 食材、人材	①食材の調達・確保できる仕組みがあります。 ②アドバイザー人材バンクを活用できます。

#### ①食材の調達・確保について

お米や野菜を地元農家から直接実施団体へ寄附してもらえる地元応援隊リストを実施団体へ配付します。

#### ②アドバイザー人材バンク

調理のお手伝いや、子どもたちへの学習支援・遊び等で地域の先生として子どもたちと交流を行うボランティアリストを実施団体へ配付します。

## 「みんなの食堂」って?

「こども食堂」の名称が用いられ始めたのは2012年とされ、「気まぐれ八百屋だんだん」(東京都大田区)の一角に「こども食堂」が設置されたことが最初と言われています。

「気まぐれ八百屋だんだん こども食堂」がマスメディアに取り上げられ始めた当初は、貧困対策としての視点からの報道が多かったそうです。そこから、こども食堂イコール子どもの貧困・貧困家庭・貧困対策というイメージが広がったようです。そのイメージが今でもあります。

白山市では、地域のすべての子ども、親、地域の大人・高齢者などが利用できる食堂としていることから、「みんなの食堂」と名称を変更しました。笑顔咲く「みんなの食堂」を運営団体の皆さんと一緒に作っていきたいと思っています。

〈 問い合わせ先〉 白山市健康福祉部こども子育て課  
TEL 076-274-9527



## こども食堂を応援！ 企業からもあたたかい支援をいただいています



### 〈株式会社王将フードサービス様〉

春・夏・冬の学校の長期休み期間に、希望するこども食堂に「餃子の王将お子様弁当」を提供いただいています。

餃子最高～

唐揚げ大好き！



### 〈大阪有機化学工業株式会社様〉

「未来を担う子ども達の一助になれば」と、防災備蓄食品のドライカレーやわかめごはんなど950食分と水(2リットル)276本をいただきました。夏には、お菓子もいただき、毎回多くの子どものに届けることができます。



### 〈丸文通商株式会社様〉

今年度新たにこども食堂応援隊に登録いただき、社員さんの福利厚生として取組まれている菜園で採れた新鮮な野菜を提供いただいています。



### 〈関東日本フード株式会社様〉

ニッポンハムのブランド国産鶏肉「桜姫®」を提供いただきました。鶏肉の唐揚げは柔らかく子ども達も大喜び！社員さんには、調理も手伝っていただきこども食堂に参加いただき支援いただきました。



### 〈株式会社 味一番フード本陣様〉

子どもが、うどんの麺切りを体験しました。本陣スタッフさんも手伝ってくださり茹でて盛り付けるまでの流れを目の前で見ることで、食欲も倍増！



鶏天うどんは、とても美味しくお腹も心も満たしてくれました。

地域の方と一緒に体験！

同じ太さにするのって難しいね

上手よ！



### 〈株式会社林農産様〉

毎年、鏡餅をくださいます。お雑煮にしたりぜんざいにしたりして年明け早々のこども食堂で、新しい年を迎えたことを子どもと一緒に喜び合える時間をもつことができます。

食堂応援隊のみなさんです。

- ★株式会社ベジタブル・クローバー様
- ★荒木空調工業株式会社様
- ★松任市農業協同組合様
- ★高畠 正行様
- ★上田 武夫様
- ★坂井 陽一様

### 〈株式会社ベネフレックス様〉

264本ものアクエリアスをいただきました。飲み物も食堂には欠かせない食品です。



おいし～



提供できる野菜がある時に、いただいています。他にも、匿名で、お米をくださる方や、フードドライブで集まった食品を提供してくださる団体さんもおいでです。本当に、ありがとうございました。



皆様からいただいた野菜や食品は、食堂での食事やお弁当・食材提供に使わせていただいています。



さつま芋のコロッケ作り



お米と野菜をセットにしてカレーセット



食品、食材を家庭に…



こども食堂の活動を理解するに当たり、適宜ご参照ください。

[syakyo-info@hakusanshi-syakyo.jp](mailto:syakyo-info@hakusanshi-syakyo.jp)

(白山市社会福祉協議会ホームページ こども食堂)

<http://www.mow.jp/archive.htm>

(一般社団法人全国食支援活動協力会ホームページ)

<http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/kodomosyokudo.html>

(農林水産省ホームページ)

おわりに…

新型コロナが流行し早3年が経ちます。白山市のこども食堂では、お弁当の持ち帰りや、食材提供などさまざまな工夫をしながら「つながり続ける」という思いをもち、こどもの居場所づくりに取り組んできました。また、コロナ禍での難しい食堂運営を、白山市こども食堂応援隊の皆さんや企業からの寄付、食材提供が、後押ししてくれました。

今年度は、市内のこども食堂運営団体が一つとなりネットワーク事業「笑顔咲く みんなの食堂」を開催することができました。準備、開催と、各食堂の皆さんがアイデアを出し合い、思いを一つにして取り組めたことは、今後のこどもの居場所づくり「みんなの食堂」につながるものとなりました。

こども食堂は、食事をとれていない子が行く所と思ったり、貧困をイメージされる方が未だにおいでます。しかし、現在は、全国的にも、地域における全ての人を対象とした食堂が開催され、地域のコミュニティーの基盤となることが期待されています。食堂での地域の方との交流や美味しかった食事、楽しかった経験は、子どもの心の財産となり、それは地域の財産につながると思います。

最後に、この冊子作成にあたり、ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

白山市社会福祉協議会 こども食堂ネットワーク



白山市社協マスコットキャラクター

「ふくちゃん」

発行年月 令和5年2月

石川県白山市倉光八丁目16番地1

白山市社会福祉協議会

こども食堂ネットワーク

TEL (076) 276-3151

FAX (076) 276-4535